

法人（事業所）理念	子ども達の自信をもった「できた！」を増やす。音楽療育を通して表現力・感受性の向上と心身の発達支援をテーマに、子ども達に合わせた支援を実施していく。		
支援方針	音楽療法を中心とした集団療育を通して、子どもたち一人ひとりの特性や強みを活かす、「楽しく参加できる」「できたを実感できる」「社会性が育つ」「社会性が育つ」**環境づくりを大切にしています。子どものペースを尊重し、成功体験を積み重ねる支援を行います。音楽・リズム・身体表現を通して、コミュニケーション力や情緒の安定を図ります。発達の5領域（①健康・生活、②運動・感覚、③認知・言語、④人間関係・社会性、⑤情緒）を意識し、総合的な成長を支援します。保護者との連携を重視し、家庭での様子や課題を共有しながら支援計画に反映します。		
営業時間	10 時 0 分から	19 時 0 分まで	送迎実施の有無 あり なし
支援内容			
健康・生活	音楽を取り入れた挨拶や始まりの会によって1日の流れに見通しを持てるよう支援し、活動前後の身支度や片付けなどの生活習慣の定着を促します。歌やリズムに合わせた活動を取り入れることで、無理なく楽しく生活動作に向かえる環境を整えていきます。		
運動・感覚	音楽のテンポやリズムに合わせて歩く・止まる・跳ぶなどの動きを行い、粗大運動や模倣動作の発達を促します。また、打楽器に触れる経験を通じて、触覚・聴覚などの感覚刺激を受けながら、自分の身体の使い方を理解し調整する力を育てます。		
認知・行動	歌詞や音の違い、リズムパターンを理解する力を高め、言葉の拡大や聞く力の向上につなげます。活動の流れを音楽で提示することで見通しが持ちやすくなり、ルール理解や課題への集中も促進されます。		
言語 コミュニケーション	集団での音楽活動を通して、友だちの音を聞きながら合わせたり、順番を守って楽器を鳴らしたりするなど、他者を意識した関わり方を身につけていきます。協同演奏や合奏を体験することで、協調性や共感性が育まれ、集団の一員として参加する力が伸びていきます。		
人間関係 社会性	音楽の持つ情緒調整効果を活かして安心して安心して過ごせる環境を整え、活動の中で達成感や楽しさを味わえるよう支援しています。音の強弱やテンポを用いて自分の気持ちを表現する経験を積むことで、自己理解と自己肯定感の向上につなげるよう働きかけていきます。自信をもって他者と行動することができるようになります。		
家族支援	家族支援加算の算定、日常業務は連絡帳を活用している。本人中心の支援を基本に、周囲（保護者や支援者）が連携して環境を整えることで、本人の自己肯定感と成長を支えています。	移行支援	小学校に定期的に訪問し、相談支援事業所とも連携をどっている。児童が社会の中で生活できるように、個々に合わせた支援を行っている。
地域支援・地域連携	相談支援事業所や小学校など、本人に関わる大人が情報を共有を行い、連携をとることで、各関係機関が役割分担を行っている。	職員の質の向上	研修会の実施やミーティングを定期的に実施、その様子をSNSで公開している。また、サービスマネージャーが研修会を実施している。
主な行事等	就労支援と連携したお買い物訓練、科学実験、スイーツリデュフエーパーティーなど、児童が楽しみながら学べる場を毎月提供している。行事内容はその月ごとで変化する。		

本人支援